群馬県次世代モビリティ分野における地域産業クラスター計画の概要

様式１－２

１．産業領域

次世代モビリティを核とする自動車等輸送機器に係る産業領域（製造業（金属製品製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業など）、情報通信業、運輸業（一般乗合旅客自動車運送業、道路貨物運送業など））

２．対象エリア

東毛幹線道（国道354号）、西毛幹線道、上武道路（国道17号）などの沿線に形成された県中南部（前橋市、高崎市、藤岡市、富岡市、安中市、伊勢崎市、渋川市）・東毛地域（太田市、桐生市、みどり市、館林市、邑楽郡大泉町、邑楽郡邑楽町）とする





自動車サプライヤー支援センター　ティアダウンワークショップ



構内自動運転トラック実証実験（ボルテックスセイグン）



群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター

３．目指す姿（目標）

＜目指す姿＞

自動運転×電動化×物流高度化を統合し、
安全性能を軸とした次世代モビリティ拠点の形成

＜目標（2036年）＞

【官民設備投資額】
累計5兆181億円以上

【輸送用機械の付加価値額】
1兆5,537億円　**+43%**（2024年比）

【産業人材育成数】
累計3.0万人以上

【輸送用機械の製造品出荷額】
5兆2,886億円　**+47%**（2024年比）

【県内の給与総額】　**+29%**（2024年比）

４．勝ち筋

製造、人流、物流の集積を活かして安全技術の**開発・製造・実装の一体的実現の場を形成**

①開発・製造・実装の段階を連携させた**先進安全技術の高度化推進**

②HEV・BEVの普及拡大、次世代エンジン開発等による**GXの推進**

③人流・物流横断の社会実装モデル確立

④車載半導体や電子技術の研究開発・人材育成を推進する、**半導体・車載電子技術拠点の形成**

⑤ヒューマノイドロボット等の導入による**生産性の向上**

５．政策手段

デジタル・クリエイティブ人材を含む専門的かつ横断的な人材の集積により、
次世代モビリティに対応したサプライチェーンの構築・エコシステムを形成

① 生産性や企業価値の向上につながる**技術開発・研究開発支援**

② ロボット導入や県内拠点整備などの**設備投資・企業誘致支援**

③ 企業が持続的に成長・発展できるための**人材育成・人材確保支援**

④ 研究開発拠点、道路ネットワークなどの**産業基盤整備**

⑤ 人流・物流を横断した新技術の**社会実装支援**